

熊本県総合射撃場 業務報告書

(令和3年5月)

熊本県スポーツ振興事業団・ミズノグループ



令和3年度 熊本県総合射撃場 業務報告 目次

I	管理業務を行うに当たっての基本方針	1
II	管理運営状況	1～2
	1 利用者対応	
	2 利用者の増加を図るための具体的な取組	
	3 サービス向上を図るための具体的な取組	
III	自主事業状況	3
	1 KSPA・MIZUNO スポーツプログラム	
	2 県全域へのスポーツ振興	
	3 施設の機能を活用した取組	
IV	維持管理状況	3～7
	1 施設・設備の維持管理	
	2 施設の衛生管理	
	3 安全管理及び体制	
	4 環境に留意した管理運営	
V	管理運営体制	7
	1 運営組織、人員配置	
	2 職員研修	
VI	緊急時対策体制	8～9
	1 事故発生時の対策・対応	
	2 各種災害時の対策・対応	
	3 感染症発生時の対策・対応	
	4 その他の対策	
	5 保険加入による補償体制	

【添付資料】

- 資料1 施設利用状況
- 資料2 職員による鉛回収状況
- 資料3 鉛及び調整池汚泥等の回収作業実績一覧表

I 管理業務を行うに当たっての基本方針

「本県の射撃競技の普及・振興の拠点」としての役割を担う熊本県総合射撃場の管理を、法令や関係条例を遵守し、利用者第一主義の原点に立ち、また公益性を担保し「県全域のスポーツ振興と県民の健康増進」に貢献することを管理運営の最優先事項として取り組みます。

II 管理運営状況

1 利用者対応

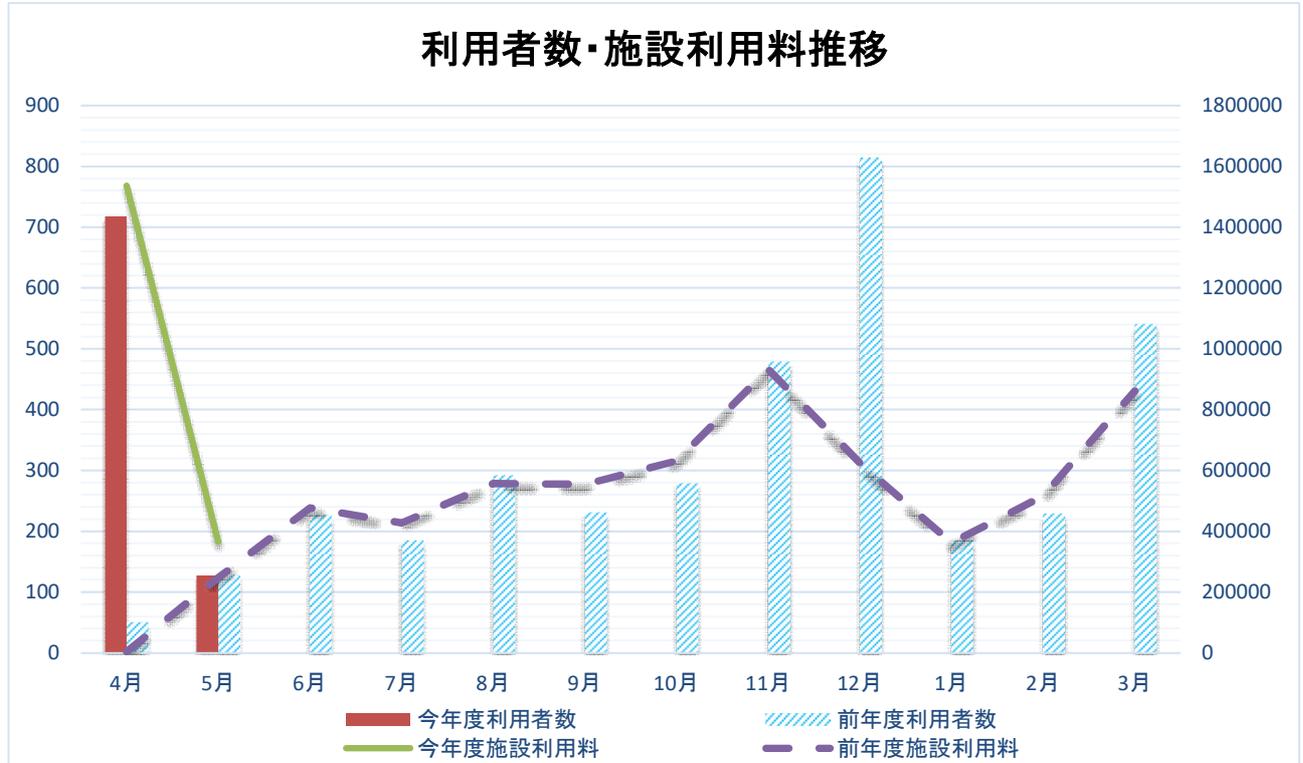
(1) 施設利用状況

施設名	利用者数		施設利用料	
	5月期	前年度該当月	5月期	前年度該当月
熊本県総合射撃場	127人	128人	364,500円	247,240円
累 計	845人	179人	1,901,680円	251,710円

※詳細は別添資料のとおり。

※前年度との比較

今年度は年間調整により予約されていた大会が開催されたことから施設利用料は増となりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として新規利用(個人利用)受付が停止されたため利用者数は前年度とほぼ同じとなっています。



(2) 利用者からの苦情、要望等とその対応状況

5月は、利用者からの苦情、要望等とその対応状況はありませんでした。

2 利用者の増加を図るための具体的な取組

(1)利用者への情報提供

各情報は、ホームページ・SNS・パンフレット・リーフレットにより提供しています。

(2)利用拡大のための取組内容

①クレー射撃場

公式戦よりも射撃位置が前にある「トラップフィールド」を導入し、初心者でも楽しめるように設定しています。

②利用者優待制度

スタンプカードや事前予約メリット性など優待制度を行っています。

(3)地域、関係機関・ボランティア団体等との連携・協働

5月は、地域、関係機関・ボランティア団体等との連携・協働はありませんでした。

3 サービス向上を図るための具体的な取組

(1)利用者主体のサービス提供

大会名	実施内容	開催日
国体予選（第1回）	A R射場の照度設定及びターゲットホルダーの調整、B R射場の照度設定及び動作点検、SB標的の昇降	2日
第一次熊本公式	大会受付補助、射群編成ボード作成補助、スコアカード作成、大会参加記録用紙作成	8日

(2)利便性の向上

内 容
・銃の手入れ用具の貸出 ・雨傘の無料貸出 ・休憩用ベンチの設置 ・コピーFAX サービス など

(3)その他の取り組み

① 地域への貢献

実施日	場 所	内 容
10・30日	公道	ゴミ拾い
22日	モニュメント	除草

Ⅲ 自主事業状況

1 KSPA・MIZUNOスポーツプログラム

(1)スポーツ教室

5月は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のためスポーツ教室は休止しました。

2 県全域へのスポーツ振興

5月は、県全域へのスポーツ振興はありませんでした。

3 施設の機能を活用した取組

(1)クレール射撃

①トラップフィールド競技の導入

5月は、トラップフィールドの利用はありませんでした。

(2)ライフル射撃

①教習射撃の実施

5月は、教習射撃はありませんでした。

(3)会議室

①会議室の多目的活用

5月は、会議室の多目的活用はありませんでした。

Ⅳ 維持管理状況

1 施設・設備の維持管理

(1)保守管理計画

[職員による日常点検一覧]

業 務 名	業務内容	実施日
建物点検	目視点検	毎日
消防設備点検	目視点検	毎日
自動ドア点検	動作確認、機能・周辺設備点検調整	毎日
管理機械(芝刈機等)点検	動作確認、燃料・オイル点検他	毎日
空調設備点検	動作確認、機能・周辺設備点検調整	随時
放送設備点検	動作確認、機能・音量点検整備	随時
射撃機器装置点検	動作確認、機能・通電点検整備	随時

[委託による保守点検一覧(定期)]

業 務 名	業 務 内 容	実 施 回 数	実 施 日
			異常有・無
自家用電気工作物保安管理	漏電監視	毎日 24時間	毎日24時間
			異常無
浄化槽保守点検	浄化槽の保守点検	毎月	26日
			異常無

(2)修繕・改修

[自主修繕等一覧]

実施内容	場 所	実施日
管理機械整備・点検	管理倉庫	10・24日

[業者修繕等一覧]

実施修繕	場 所	実施日
子時計修繕	SBライフル射撃場東側	7日
控室ドア鍵不具合修繕	クレー射撃場	11日
トイレ呼出装置不具合修繕	管理棟・ライフル棟	14日
プーラー室等ドアノブ不具合修繕	クレー射撃場	25日
原水ポンプ制御フロートスイッチ修繕	合併処理浄化槽	28日

(3)外構や植栽の維持管理

[業者委託]

場 所	実施内容	実施日
SBライフル射撃場	SBライフル射撃場看的法面除草委託	30～31日

[職員作業]

場 所	実施内容	実施日
トラップA・トラップB スキートA・スキートB SB射場平地・煉瓦並木 ライフル棟周辺 管理棟裏の芝・受水槽周辺 左法面・ゲート右・畝	除草	1～5・7・9・13・ 14・16・19・21・ 22・27・28・29・ 30日
射撃場奥法面 ライフル棟周辺 スキートA放出機前側溝	汚泥回収	14・16・17・21日
スキートA・スキートB	クレー・ワッズ回収	23日

2 施設の衛生管理

職員作業により、清潔で快適な空間の提供を行っています。

[職員による日常清掃内容]

頻 度	区 域
毎日実施	(管 理 棟) 会議室、研修室、事務室、トイレ、廊下ホール、更衣室、 (ライフル棟) 玄関、トイレ (そ の 他) 屋外トイレ、ごみ収集
週 2 回	(ライフル棟) 審査室、ビームライフル会場、エアーライフル会場、 スモールボア会場、通路、
週 1 回	(管 理 棟) 銃器保管庫、倉庫 (そ の 他) クレー放出機地下ピット、屋外機械室、駐車場、一般ごみ処分
月 1 回	(そ の 他) 火薬庫、クレー庫、倉庫
随 時	窓ガラス、雨水排水設備、不燃物処分

[職員等による特別清掃内容]

場 所	実施内容	実施日
ライフル棟	AR射場、SB射場、BR射場清掃	16日

[新型コロナウイルス感染防止対策実施一覧]

内 容	対 応	期 日
新型コロナウイルスに関する注意喚起	感染予防方法の周知 ※ホームページ掲載 及び施設掲示	1～31日
新型コロナウイルス感染防止対策	施設各所へ手指消毒アルコール設置及び各所のアルコール拭き作業	1～31日
施設利用時の新型コロナウイルス感染拡大防止対策	利用前の検温、チェックリストによる確認の実施	1～31日
熊本県新型コロナウイルス感染症リスクレベル5引き上げに伴う対応について 【当面の間】 ・新規利用予約休止 ・各種自主事業の休止、延期	館内掲示・HP掲載による利用者への周知	1～31日

3 安全管理及び体制

(1)保安警備業務と体制

開場時間帯は職員による警備、閉場時間帯は株式会社キューネットによる警備を行い、24時間体制で利用者の安全確保と防犯・防火・防災に努めています。

[不審者や夜間不法侵入者等の緊急対応]

5月は、不審者や夜間不法侵入者等の緊急出勤はありませんでした。

区 分	業務内容	実施予定時期
職員実施	施設・設備点検、開閉錠、不審者、不法行為の発見や排除等	AM8:30～AM9:00 日中は随時 PM5:30～PM6:00
業者実施	機械警備	感熱・赤外線により火災・盗難、不良行為の監視 毎日、無人となる 夜間から朝まで
	人的警備	不審者、不法行為の発見などの問題発生時 随時対応

(2)環境保全体制

環境省が定めている「射撃場に係る鉛汚染調査・対策ガイドライン」に基づき、鉛弾等の環境保全対策を行っています。また、回収作業は、グループ全体で取り組んでいます。

業 務 名	実 施 日
鉛回収、分別作業(職員により実施)	別添資料 2 参照
調整池清掃・汚泥回収	別添資料 3 参照
水質検査	なし

4 環境に留意した管理運営

環境省の認証制度であるエコアクション 21 の方針に準じ「省エネ・省資源」「ゴミの減量化」「リサイクル」「グリーン購入」等、環境に配慮した取り組みを推進します。

取り組み	内容
環境啓発活動	地域公道のゴミ拾い
省エネ・省資源への取組み	LED や節水コマの取付など、節電・節水に努める
リサイクル・リユース活動	回収した鉛や薬きょうを活用したストラップ等作成

V 管理運営体制

1 運営組織、人員配置

射撃場長(統括責任者)のもと1課体制により、各種事業を円滑に行っています。

利用者対応は、開場時間帯に対応した勤務体制をとり、ホスピタリティな対応を行っています。

利用案内・窓口受付	開場時間	職員配置時間	備 考
管理棟受付窓口(4~9月)	9:00~18:00	8:30~18:30	施設点検・供用準備を含む
管理棟受付窓口(10~3月)	9:00~17:00	8:30~17:30	施設点検・供用準備を含む

2 職員研修

(1) 一般研修・階層別研修・専門研修・資格取得研修・他施設への派遣研修

5月は、職員研修はありませんでした。

VI 緊急時対策体制

1 事故発生時の対策・対応

事故発生に備えて、全職員に“危機管理マニュアル”の徹底を図るとともに、AEDをはじめ、応急処置に必要な機器・用具を設置しています。さらに事故に対する保険に加入し、万全の補償体制をとっています。

[事故等に伴う職員の出勤]

5月は、事故等に伴う職員の出勤はありませんでした。

[常備機器・用具]

機器・用具等	配置場所
AED(自動体外式除細動器)	管理棟受付前
使い捨て担架(ディスポストレッチャー)	管理棟受付
救急用具:消毒薬、包帯、三角巾、添木 等	管理棟受付

2 火災、地震災害時の対策・対応

区 分	内 容	対 応	対応日
地震	熊本地震による施設対応	危険区域の立入禁止措置	1～31日

3 気象災害時の対策・対応

区 分	内 容	対 応	対応日
その他	大雨による被害状況の点検	屋内外施設及び機械設備の異常確認点検実施。 ※異常なし	17日
その他	大雨による被害状況の点検	屋内外施設及び機械設備の異常確認点検実施。 ※異常なし	24日
その他	大雨による被害状況の点検	屋内外施設及び機械設備の異常確認点検実施。 ※異常なし	27日

4 その他の対策

(1) その他の対策・対応

区 分	内 容	対 応	対応日
熱中症	定期的に熱中症測定器で計測し、利用者に情報を提供	定期計測 利用者へ熱中症予防呼び掛け	1～31日

(2) 国民保護法に定める避難施設として指定された場合の支援

災害に備えて、飲料水を備蓄しています。

[危機管理マニュアル]

・台風、豪雨対応	・火災、地震災害対策	・微小粒子状物質(PM2.5)対策
・施設の爆破、占拠等対応	・人的災害対応	・新型コロナウイルス感染拡大防止マニュアル
・光化学スモッグ対応	・落雷事故対応	
・新型インフルエンザ対応行動計画	・熱中症予防対策	

5 保険加入による補償体制

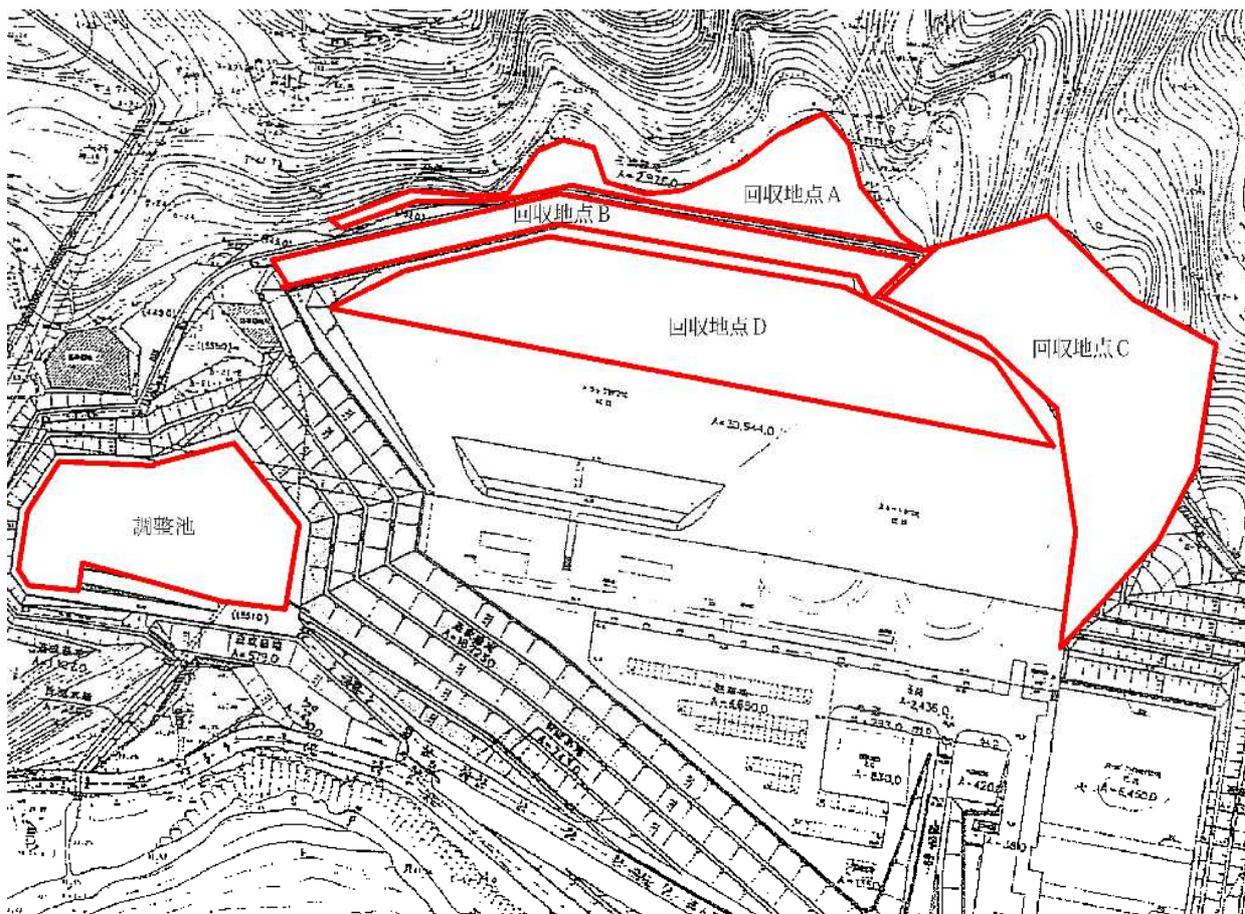
[賠償保険加入状況]

保険内容	補償内容
スポーツファシリティーズ保険 (公益財団法人日本体育施設協会)	[施設所有(管理)者賠償責任保険] 対人賠償:1事故につき5億円(1名につき3億円) 対物賠償:1事故につき2億円
	[スポーツ災害補償保険] 死亡・後遺障害補償:200万円 医療補償:入院1日2,500円
行事参加者補償保険 (Chubb損害保険株式会社)	死亡・後遺障害補償:200万円 医療補償:入院1日3,000円 通院1日2,000円
個人情報漏えい保険 (東京海上日動火災保険株式会社)	賠償:1請求につき5,000万円 対応費用:1事故または1請求につき2,000万円

実施日	鉛回収量	泥回収量 (側溝)	回収地点				調整池汚泥 回収量	備 考
			A	B	C	D		
2日 (日)	55kg							鉛分別作業
7日 (金)	48kg							鉛分別作業
11日 (火)	10kg	100kg	○	○	○	○		
16日 (日)	10kg							鉛分別作業
21日 (金)	30kg							鉛分別作業
22日 (土)	4kg							鉛分別作業
25日 (火)	5kg	150kg	○	○		○		
26日 (水)	30kg							鉛分別作業
28日 (金)	10kg							鉛分別作業
29日 (土)	30kg							鉛分別作業
合 計	232kg	250kg	2	2	1	2	0kg	
累 計	853kg	505kg	4	4	2	4	0kg	

装弾発射量	クレー使用枚数	鉛弾量(1発)	推定鉛量	累計鉛量	備 考
	7,867枚	0.024kg	約188.8kg	約796.9kg	

鉛等回収地点図



鉛及び調整池汚泥等の回収及び鉛分別作業実績一覧表

実施日	曜日	作業人数	作業箇所	鉛回収量	側溝土砂量 (鉛含む)	調整池 汚泥回収	調整池 枯葉等除去	備考
6日	火	9人	部分回収	134kg	90kg			射撃場以外の施設から職員を動員
10日	土	2人	倉庫横	8kg				鉛分別作業
16日	金	3人	倉庫横	15kg				鉛分別作業
17日	土	4人	倉庫横	25kg				鉛分別作業
26日	月	3人	倉庫横	11kg				鉛分別作業
27日	火	8人	全面回収	318kg	165kg			射撃場以外の施設から職員を動員
28日	水	1人	倉庫横	20kg				鉛分別作業
29日	木	4人	倉庫横	90kg				鉛分別作業
4月回収量合計(34人)				621kg	255kg	0kg	0回	25,337枚×0.024kg=608kg
2日	日	2人	倉庫横	55kg				鉛分別作業
7日	金	3人	倉庫横	48kg				鉛分別作業
11日	火	11人	全面回収	10kg	100kg			射撃場以外の施設から職員を動員
16日	日	3人	倉庫横	10kg				鉛分別作業
21日	金	2人	倉庫横	30kg				鉛分別作業
22日	土	3人	倉庫横	4kg				鉛分別作業
25日	火	9人	部分回収	5kg	150kg			射撃場以外の施設から職員を動員
26日	水	3人	倉庫横	30kg				鉛分別作業
28日	金	2人	倉庫横	10kg				鉛分別作業
29日	土	3人	倉庫横	30kg				鉛分別作業
5月回収量合計(41人)				232kg	250kg	0kg	0回	7,867枚×0.024kg=188kg
合計(延人数 75名)				853kg	505kg	0kg	0回	33,204枚×0.024kg=796kg(4~5月)

回収量/鉛散乱量 = 853kg/796kg = 107%(鉛回収率)

* 調整池汚泥回収量は、乾燥前の目視量である。 * 側溝土砂には、若干の鉛を含む。